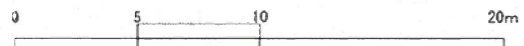


市道 西大畑町株川岸通線



令和3年度 庭園整備全体平面図

竣工時  
(令和4年3月時点)



茶庭芝生復元 (2022年3月時点)



斜面修復 (2022年3月時点)



中庭飛石周辺整備 (2022年3月時点)



現況  
(令和4年9月時点)



茶庭芝生復元 (2022年9月時点)



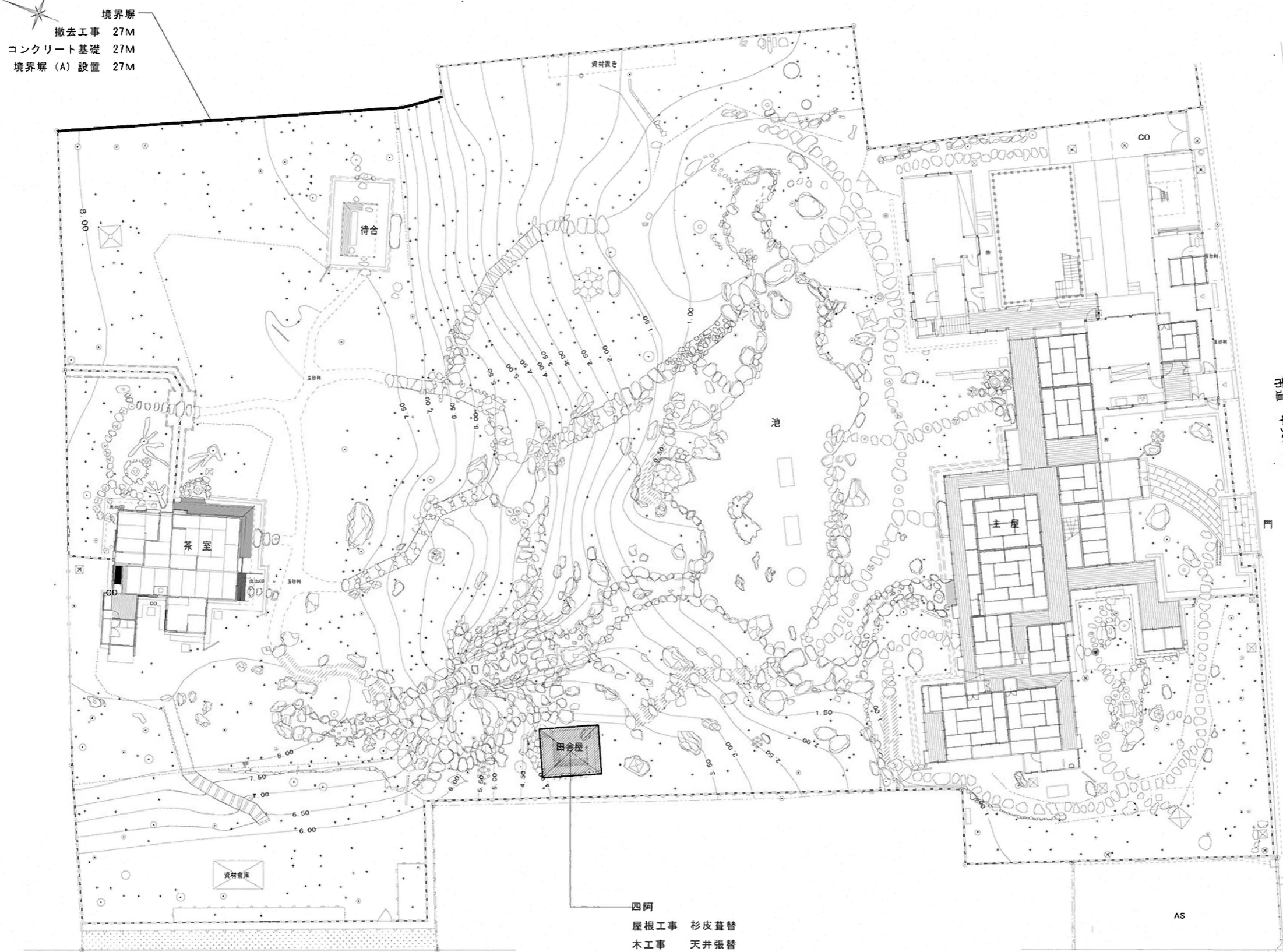
斜面修復 (2022年9月時点)



中庭飛石周辺整備 (2022年9月時点)

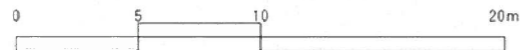
本年度庭園工事の状況 1/3 【建造物整備箇所平面図】

令和4年度 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会 第七回会議



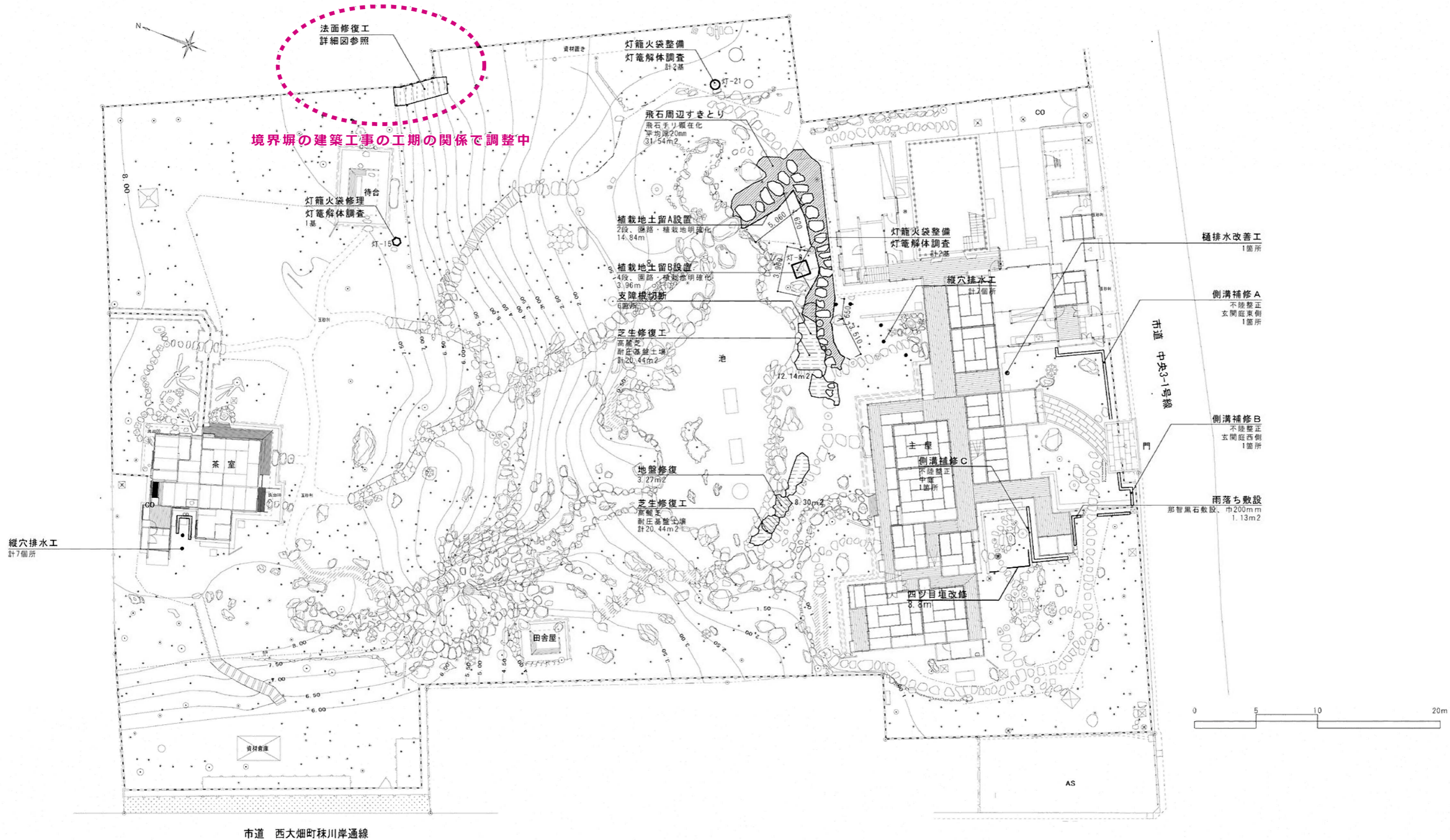
市道 西大畑町株川岸通線

- 四阿
- 屋根工事 杉皮葺替
- 木工事 天井張替
- 左官工事 聚楽壁補修
- 塗装工事 腰掛・手摺部分修繕
- 雑工事 軒周り・腰壁周りに修繕



令和4年度 建造物整備予定箇所平面図

業務名	名勝旧齋藤氏別邸庭園整備基本設計		
図面名	整備全体平面図		
縮尺	A1→1/150	図面番号	02
調査場所	新潟市中央区西大畑町576番地 旧齋藤家別邸地内		
新潟市	文化財保存計画協会		



令和4年度 庭園整備予定箇所修復平面図



茶室裏枯死アカマツ写真

令和3年度 庭園整備全体樹木平面図



**【目的】**  
 ・洗い出し舗装と筑波石の階段との取り合い確認  
 ・洗い出しが齋藤家の時代の造作か考察

**② 洗い出し舗装**

**【測量成果例】**  
 ・発掘断面立面図 (写真測量・線画)  
 ・発掘平面図 (線画) ※場合により写真測量

**【目的】**  
 ・石積範囲の確認  
 ・石積下部のレンガ積範囲の確認  
 ・石積前面の斜面の当初地形の確認

**① 北西管理用地石積周辺**

**【測量成果例】**  
 ・発掘断面立面図 (写真測量・線画)  
 ・発掘平面図 (線画) ※場合により写真測量

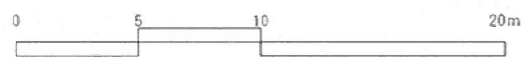


洗い出し発掘予定箇所



石積土留石

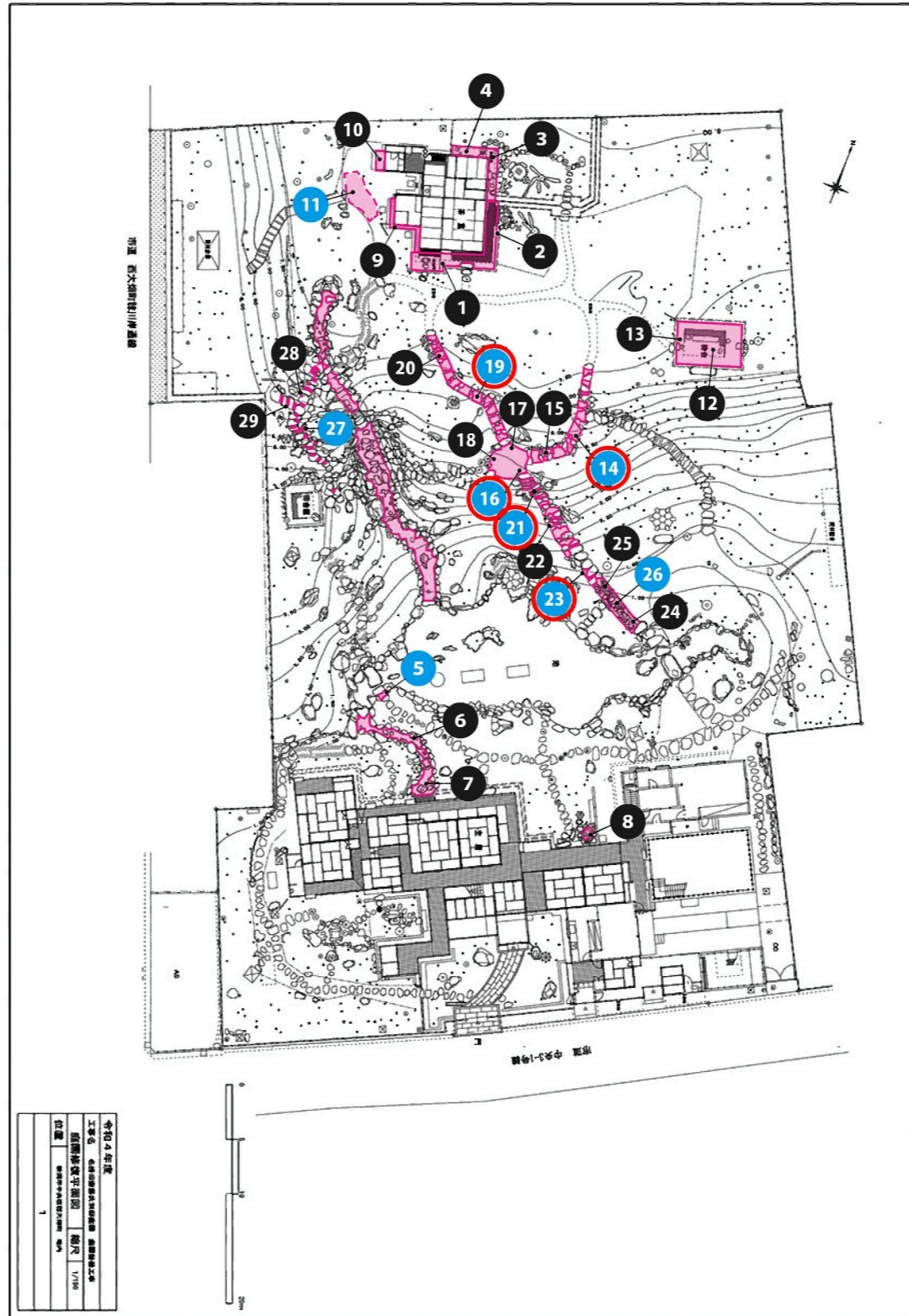
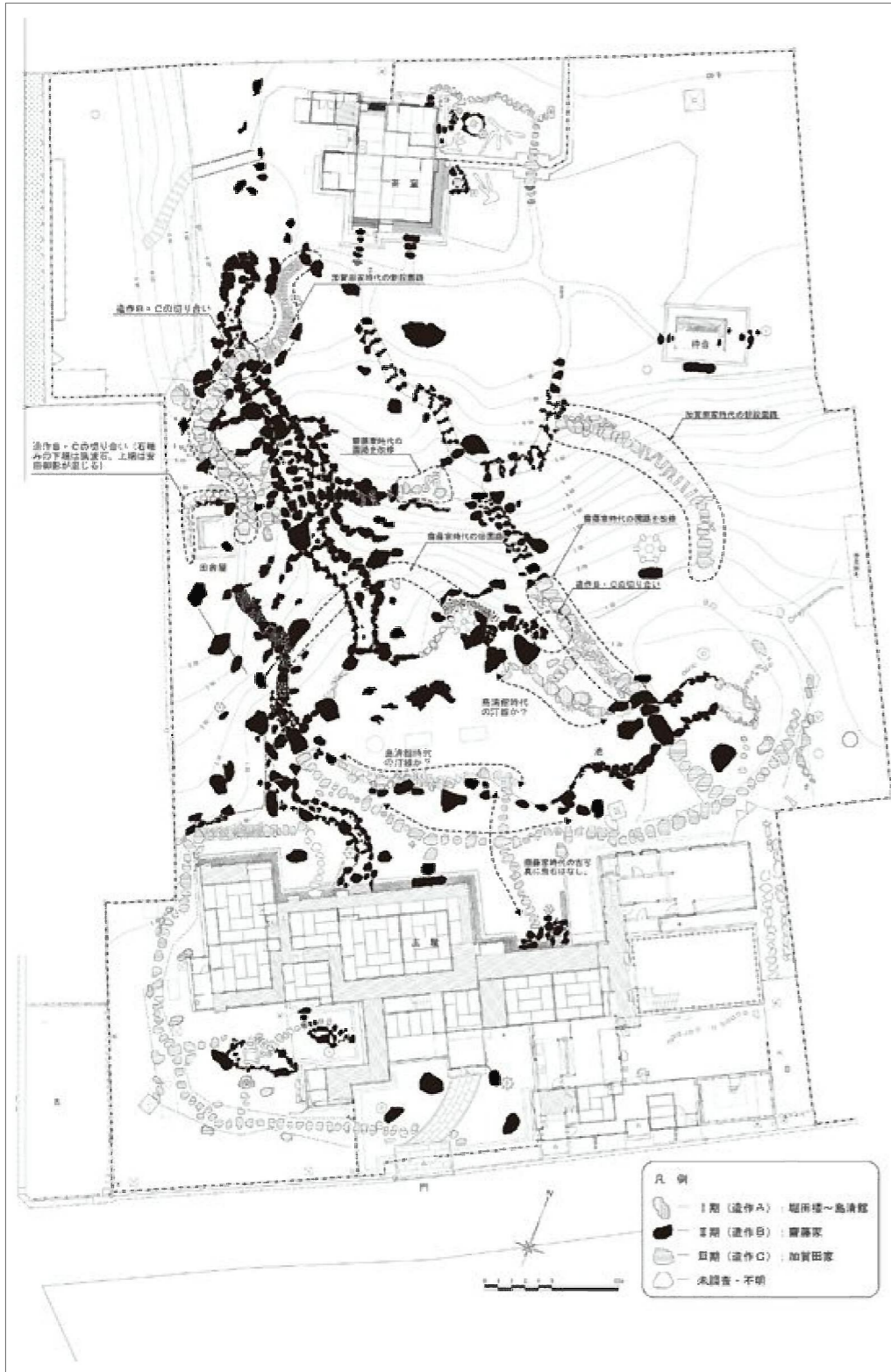
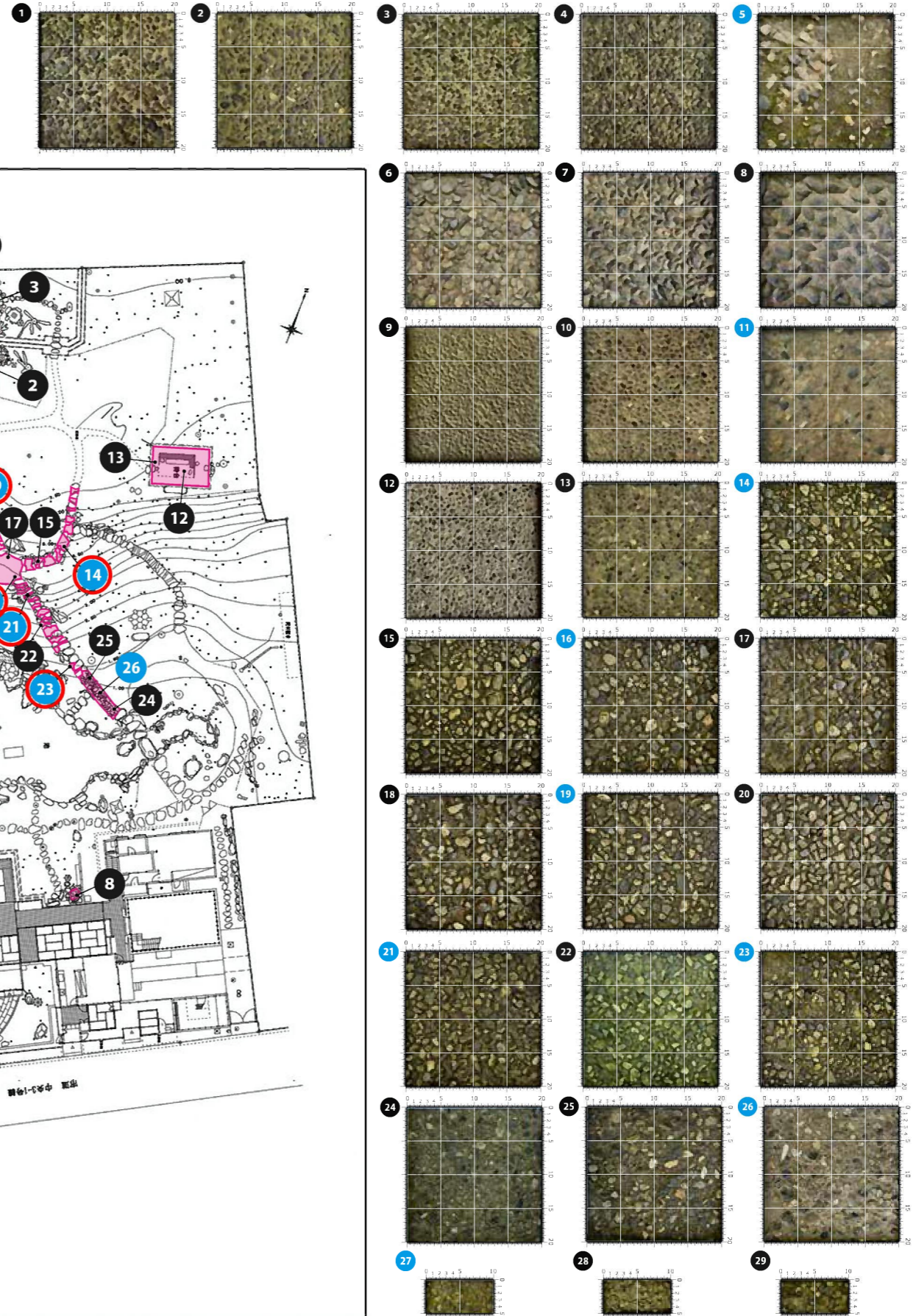
**■ 既存測量成果**  
 ・庭園全体のおおまかな 3次元測量 (点群データ)  
 ・北西管理用地石積の立面写真、断面図 (石積部分のみ)



令和3年度 庭園発掘調査箇所平面図

洗い出し分布調査検討 1/2

- ・ 洗い出し舗装の造作時期を検討するため、各個所 20×20 cm の範囲で撮影し、種石の色や粒径の分布傾向を比較し、どの範囲の造作がどの時期のものか推察する資料とする。
- ・ 庭園内の洗い出し箇所全 29 箇所を撮影し素材とした。
- ・ 一連の造作もしくは同じ舗装面においても 2～3 箇所撮影しているため、その中から「旧齋藤家別邸庭園調査報告書 2012 年 3 月」を参考にしつつ 9 箇所を選定し、詳細な分布傾向を確認する。



令和4年度	庭園保存整備検討委員会
調査対象	洗い出し舗装
調査期間	令和4年10月10日～11月10日
調査者	齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会
調査場所	新潟市 齋藤氏別邸庭園
調査範囲	洗い出し舗装箇所
調査方法	現地調査
調査結果	洗い出し舗装の分布傾向
調査報告書	洗い出し舗装の分布傾向

旧齋藤家別邸庭園調査報告書 2012年3月 新潟市、東京農業大学 国際日本庭園研究センター p50 図4-24 庭園の時期変遷

洗い出し調査箇所平面図

洗い出し分布調査検討 2/2

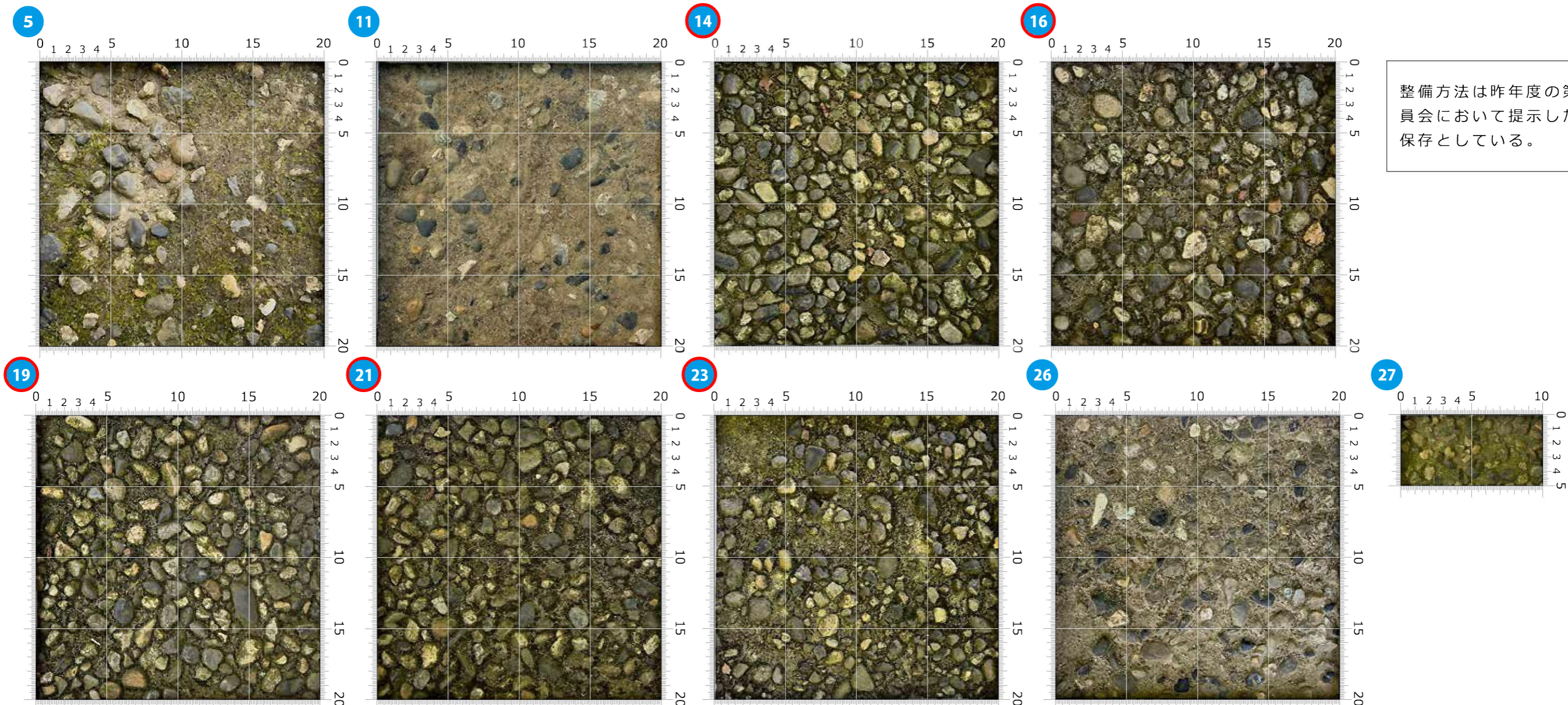
- ・選別した洗い出し9箇所の種石における粒径や色の分布傾向を計算した。その数値と見た目の両面から特徴を考察する。
- ・粒径については2cm内外のものが3.8%から15.8%とやや開きがあるが、脱落の可能性の高い空隙も多く、大きく異なる特徴とは言えない。
- ・色においては、概ね全てにおいて、赤、茶、黄色が少なく、比べて青(灰)、黒、白(その他)が多い傾向にある。ただし、5と21においては色の分布割合の順番が若干異なる。
- ・見た目では5, 11脱落している可能性が高く、14, 16, 19, 21, 23の階段踏面部は同様に見える。
- ・2012の庭園調査によると中央南の階段の下部は加賀田家時代の造作であり、その上部は齋藤家時代の造作と考察されている。
- ・14, 16, 19, 21, 23においては上記の造作両方に係るため、少なくとも階段の洗い出しに関しては、加賀田家以降の造作の可能性が考えられる。

種石分布状況表

No.	2cm内外		色					
	割合	割合	赤	茶	黄	青(灰)	黒	白(その他)
5	8.0%	92.0%	0.0%	3.4%	8.0%	24.1%	5.7%	58.6%
11	10.9%	89.1%	0.0%	5.4%	7.5%	9.5%	32.0%	45.6%
14	12.9%	87.1%	0.0%	5.6%	3.1%	21.3%	11.1%	58.9%
16	15.8%	84.2%	0.5%	3.7%	4.7%	19.5%	23.7%	47.9%
19	10.6%	89.4%	0.0%	5.3%	1.6%	8.1%	17.9%	67.1%
21	8.8%	91.2%	0.0%	7.4%	2.3%	6.5%	14.4%	69.4%
23	3.8%	96.2%	0.0%	5.1%	1.7%	24.6%	16.9%	51.7%
26	4.4%	95.6%	0.0%	8.4%	3.4%	20.7%	26.1%	41.4%
27	0.0%	100.0%	0.0%	16.7%	5.0%	18.3%	23.3%	36.7%
平均 (27除く)	9.0%	91.0%	0.0%	6.0%	4.0%	17.0%	18.0%	55.0%
中央 (27除く)	10.0%	90.0%	0.0%	5.0%	3.0%	20.0%	17.0%	55.0%

種石色別分布順位表

No.	順位 (多い: 1~少ない: 6)					
	赤	茶	黄	青(灰)	黒	白(その他)
5	6	5	3	2	4	1
11	6	5	4	3	2	1
14	6	4	5	2	3	1
16	6	5	4	3	2	1
19	6	4	5	3	2	1
21	6	3	5	4	2	1
23	6	4	5	2	3	1
26	6	4	5	3	2	1
27	6	4	5	3	2	1



整備方法は昨年度の第6回検討委員会において提示した通り、残地保存としている。



## 旧齋藤家別邸擁壁について

### 1 概要

旧齋藤家別邸の市道バス通りに面した石積擁壁において、崩落の危険性が確認された。緊急対応工事を実施した後、当該擁壁の構造を把握する必要があったため、測量・調査・解析業務を実施した。

今後、上記調査を基に設計を行い、本格的な補強工事を実施する予定である。

### 2 これまでの経緯

令和4年3月24日	擁壁の一部にひび割れや膨らみを発見
4月5日	業者による現地確認で対策の必要性を指摘
4月13日	緊急対応として金網・大型土のうを設置
6月～7月	擁壁の構造調査を実施
10月～3月	設計業務（実施中）

### 3 調査の結果

- 石積擁壁の背面には、庭園の土砂を支えるための擁壁が存在しない
- 石積擁壁は現行の基準（標準設計）を満たしておらず、安定が確保できない



安定を確保するための補強が必要



現在の擁壁の状況

### 4 今後のスケジュール

- 令和5年4月以降 補強工事

